



こんなときどうすればいいの



6

けいれんを起こした

緊急度

1

次の症状だけなら

ひとまず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待ちましょう。

- ① 今までに同じようなけいれんを起こしたことがあり、診断を受けている
- ② けいれんかどうか分からない、今は落ち着いている

緊急度

2

次のような症状が1つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談(P25参照)に相談するか、休日・夜間急病センター(P23参照)を受診してください。

- ① けいれんが5分以上続いた
- ② はじめてのけいれん
- ③ けいれん時の体温が38℃以下だった
- ④ けいれんに左右差がある(右半身だけ、左半身だけがけいれんしている)
- ⑤ 嘔吐、失禁を伴う
- ⑥ 何度も繰り返しけいれんが起こる

緊急度

3

● 次のような症状が1つでもあれば、

迷わず救急車を呼んでください。

- ① けいれんが10分以上続いている
- ② けいれんは止まったが意識がおかしい
- ③ 呼吸が弱い
- ④ 顔や唇の色が紫色になっている
- ⑤ 激しい頭痛がある

あわてず落ち着いて対処してください

観察のポイント

- ① いつから、どんなけいれんが、何分くらい続いたか
- ② けいれんに左右差はないか（右半身、左半身だけではないか）

対処方法

- ① 体を揺さぶったり、たたいたりしない
- ② 吐いたものがのどに詰まらないよう、顔を横に向け、衣服をゆるめる
- ③ 口の中に割り箸や指を入れない
- ④ 体温を計る

一口メモ

泣き入りひきつけとは

- ◎ 子どもが大泣きしているときに呼吸が止まり、顔や唇が紫色になってけいれんを起こすものを、泣き入りひきつけと呼びます。
- ◎ 通常は、まもなく呼吸しはじめるので、落ち着きましょう。体を揺さぶったり、たたいたりしてはいけません。顔に息を吹きかけてやると早く呼吸を再開します。
- ◎ 意識が戻らない場合は救急車を呼んでください！

